

国立病院機構南岡山医療センターにおいて、
2002年1月1日から2011年12月30日の間に
化学物質負荷試験検査を受けた方へ

「化学物質負荷試験を施行した化学物質過敏症、シックハウス症候群疑いの患者データの解析」
へのご協力をお願い

研究機関名 国立病院機構 南岡山医療センター
研究機関長 谷本 安
研究責任者 国立病院機構 南岡山医療センター 客員研究員 山中隆夫
共同研究者 国立病院機構 南岡山医療センター 統括診療部長 木村五郎

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

シックハウス症候群や化学物質過敏症は現代社会において大きな問題となっており、室内の化学物質濃度基準以下の有機化合物濃度以下であっても過敏に反応して種々多様な症状がおられることが知られています。

しかし、疾患特異的な他覚的検査結果が多くはなく診断自体も困難であることが多く、十分に明らかにされていません。

そのため私たちは、シックハウス症候群や化学物質過敏症疑いの患者さんに当院で診療のため行ってきた、化学物質負荷試験検査等の結果と臨床特徴の関連を解析し、臨床診断の精度向上に役立つ知見を得る事を目的とした研究を行います。この研究では患者さんの氏名、病院のID、住所、電話番号などの情報が外部に出る事はなく、その他の個人情報もプライバシーに十分配慮して扱われます。またこの研究の結果は氏名・生年月日などの個人を直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表されます。本研究は当院の倫理委員会から承認を得ています。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究は、シックハウス症候群や化学物質過敏症のより正確な臨床病態に役立つ情報を得る事で、診断と早期治療の開始に寄与します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

国立病院機構南岡山医療センターにおいて、2002年1月1日から2011年12月30日までの間に終夜ポリソムノグラフィー検査をされた方。

2) 研究期間

2016年4月倫理委員会承認後～2020年6月30日

3) 研究方法

当院を受診されクリーンルームで化学物質負荷検査をされた患者さんの症状、化学物質負荷検査、アンケート結果等の臨床情報を用いて化学物質過敏症およびシックハウス症候群に重要な役割を果たす病態を検討し、症状や検査結果の対比を行います。

4) 使用する試料

クリーンルームで化学物質負荷試験検査を行なったあと氏名・生年月日・住所などのあなたを直ちに特定で

きる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 使用する情報

年齢、性別、病歴、症状、治療歴、合併症等の発生状況、各種検査結果、アンケート結果。

6) 試料・情報の保存、二次利用

研究終了後、情報については廃棄します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

ご家族より御希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名・生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので御了解ください。

この研究に御質問等がありましたら下記の連絡先まで、お問い合わせ下さい。また、対象となる御家族の試料・情報が研究に使用されることについて御了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年4月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

国立病院機構南岡山医療センター

担当者：管理課 建部 宏明

電話：086-482-1121（平日：8時45分～17時15分）

ファックス：086-482-3883